

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	外部 2 ・ 3	地域との交流が十分とは言えない。グループホームへの理解や近隣交流を深めていくことが課題である。	運営推進会議に地域住民や町役場、地域包括など、多方面からの参加を実現し、グループホームへの理解と近隣交流、協力体制を確立できる。	運営推進会議への出席依頼を各方面へ行う。近隣への買物時など、顔見知り・ご近所さんなどの情報交換を行い、行事へのお誘いや清掃活動への参加を積極的に行っていく。	6ヶ月
2	自己 7	知らず知らずのうちに言葉で動きを静止してしまったり、介助者サイドの都合で利用者の方を動かしていることがないか、利用者が不快と感じている対応はないか、職員全員が自己を見つめなおし、今のやり方が正しいのか、話し合うことが課題である。	その時一番ベストと利用者に思われる対応ができる。また、不快等にいち早く気づき、対応や環境を整えることができる。	自己の対応について会議時に皆で話し合う。利用者から意見を聞いたり、表情等を見ながら心遣いのある対応を行っていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。